



富士市公共下水道事業における事業運営の効率化に関する  
V E 提案の採択ならびに下水道事業への参入について

2018年8月1日

東京電力パワーグリッド株式会社  
株式会社ウォーターエージェンシー

東京電力パワーグリッド株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金子禎則、以下、「東電P G」）は、ウォーターエージェンシー・パシフィックコンサルタンツ特定共同企業体（以下、WA・P C K K企業体）の代表企業である株式会社ウォーターエージェンシー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：榊原秀明）、以下、「WA」）と富士市公共下水道事業における事業運営の効率化に関するV E提案<sup>\*1</sup>を行った結果、東電P Gが電気事業で培ったエンジニア力とWAの管理実績を評価いただき、富士市に採択されました。

各自治体の下水道事業は、設備経年化による改修費用の増大、人口・需要減少による収益の減少、労働人口の減少・高齢化による要員不足といった課題に対して、ストックマネジメント計画<sup>\*2</sup>や、民間活用の導入の検討が増加しています。V E提案を展開するにあたり、東電P Gは富士市終末処理場<sup>\*3</sup>管理運転等業務の包括委託先であるWA・P C K K企業体から計装設備<sup>\*4</sup>保守点検業務について受託することに合意し、本日契約を締結しました。

今回の契約締結により、東電P Gとしては初めて下水道事業に参入することとなります。今後も引き続き、電気および機械設備などへ検討の幅を広げ、富士市公共下水道事業の効率的な事業運営に貢献してまいります。

東電P Gは、電気事業で培ったO & M<sup>\*5</sup>・コスト削減、現場技術・経営ノウハウを各自治体へ提供し、下水道事業へ活用することで事業領域の拡大を目指してまいります。

- ※1… V E (Value Engineering) とは、設備形成等にあたって、その機能を低下させずにコストが安くなる手段があれば、その手段を積極的に活用していく価格低減手法であり、V E方式において採用された提案については、コスト低減額に応じた報奨が付与される
- ※2… 構造物や施設の機能診断に基づく機能保全対策の実施を通じて、既存施設の有効活用や長寿命化を図り、ランニングコストを低減するための技術体系及び管理手法
- ※3… 下水を最終的に処理して公共用水域または海域に放流するために設けられる施設
- ※4… 下水処理場内の水処理工程等を制御するための測定装置や制御装置
- ※5… Operation and Maintenance の略で運転管理業務、維持管理業務をおこなうこと

<今回の検討体制>



<別紙>

- ・東京電力グループのリソース活用イメージ

【本件に関するお問い合わせ先】

東京電力パワーグリッド株式会社 総務・広報グループ 03-6363-1305 (代表)  
株式会社ウォーターエージェンシー 品質保証本部 CI 戦略室 03-3267-4005 (代表)

## 【自治体上下水道事業における課題】

Down

水使用量人口減少  
による収入減

Down

自治体における  
職員（技術者）減少

Down

処理設備の  
老朽化

安定的かつ効率的な事業運営が必要とされている。

## 【東京電力グループの資源活用イメージ】

## ①今回

## 設備の運用維持管理



設備保全技術の活用

## ②至近の展開

## 遠隔監視



トラブル対応や監視制御

データに基づく  
アセットマネジメント

費用削減方策の提案

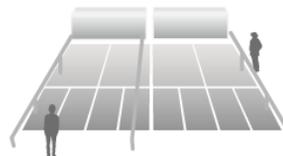
電気事業で培ったノウハウを提供し、  
持続的なインフラ環境の保全に貢献します。

## ③将来展望

## お客さまサービス

スマートメーター  
システムの活用

## 汚泥処理

複数自治体で汚泥燃料化  
事業の受注実績